

平成29年度 学校経営方針（全日制課程）

平成29年4月20日（木）
北海道江別高等学校長 吉田 岳夫

1 学校教育目標

- (1) 知性を高め、創造性豊かな生徒
- (2) 自由を尊び、責任を持つ生徒
- (3) 健康に努め、実践力のある生徒

2 重点目標

- (1) 確かな学力の育成：基礎基本を確実に身につけ、主体的に学ぶ力を育てる。
- (2) 豊かな心の育成：礼儀作法を確実に身につけ、豊かな人間性と社会性を育てる。
- (3) キャリア教育の推進：個性や能力を生かし、社会へ円滑に移行できる実践力を育てる。
- (4) 健やかな体の育成：基礎体力を身につけ、自ら健康の保持増進に努める態度を育てる。

※ めざす学校像

- ・生徒、保護者、地域から信頼される学校
- ・生徒の進路実現に応える学校
- ・学力の向上が図られる学校
- ・生徒が主体的に行動し、活気溢れる学校
- ・学科の特性や専門性を十分に生かす学校

※ めざす生徒像

- ・明るく元気に生き生きとした学校生活を送れる生徒
- ・基礎学力を身につけ、進路実現に地道に努力する生徒
- ・責任ある言動で、自己管理ができる生徒
- ・集団生活のマナーやルールを守れる生徒
- ・他者への思いやりを大切にできる生徒

3 経営方針

学科の特性や専門性を生かし、生徒の多様なニーズに応えるとともに、学科間の連携を通して、高校教育として共通に求められる知識や技能を修得させる。

- (1) 創意工夫に富んだ特色と魅力ある教育活動を進め、家庭や地域社会から信頼される学校づくりを推進する。
- (2) 教職員一人一人が自らの資質能力を高め、質の高い教育を保証するための組織協働体制の構築を推進する。
- (3) 生徒の多様な活動を支援するとともに、生徒一人一人の可能性を伸ばす教育環境の整備を推進する。

4 教育課程編成の方針

- (1) 生徒の能力、適性、進路希望等に応じ、主体的に学ぶことのできる教育課程の編成に努める。
- (2) 大学、専門学校などの地域の教育力や教育資源を効果的に活用した教育課程の編成に努める。
- (3) 各教科、科目と特別活動が調和し、知・徳・体のバランスのとれた教育課程の編成に努める。

5 指導上の重点事項

「学習指導」

- (1) 基礎基本を確実に定着させ、課題探求力、創造力の育成を図る。
- (2) 生徒一人一人の能力、適性に応じた学習形態、指導方法の充実に努める。
- (3) 学習意欲を高め、確かな学力を育む指導内容、指導法、評価の工夫改善に努める。

「生徒指導」

- (1) 基本的な生活習慣を確立させ、他者への思いやりや公共心の育成に努める。
- (2) 集団や社会の一員としての自覚を深化させ、人間関係形成力の育成に努める。
- (3) 多様化する生徒の実態に応じて、適切に対処する指導体制の構築に努める。

「進路指導」

- (1) 主体的な進路選択能力や勤労観、職業観を醸成するキャリア教育の充実に努める。
- (2) 早期に進路目標を設定できるように、生徒一人一人の能力、適性、進路希望等に応じた進路相談や進路情報提供の充実に努める。
- (3) 進路目標の確実な実現に向けて、家庭、地域社会、関係機関とのネットワークの充実に努める。

「健康・安全指導」

- (1) 体力の向上、健康の保持増進のための実践力の育成に向け、体育活動及び保健活動の充実に努める。
- (2) 社会奉仕の精神、他者への思いやり、自他の生命尊重の精神を醸成する安全教育の推進に努める。
- (3) 健康で活力ある学校生活を送るために、安全安心な教育環境の充実に努める。

☆具体的な実践について

1 教育のプロとしての自覚を持つ

- (1) 生徒にとって、ベテラン、初任者、期付き全て同じ先生です。プロの自覚をしっかりと持ちながら全ての教育活動に当たってください。
- (2) プロの教師は授業で勝負です。常に授業の工夫と改善を図り、生徒を引きつける授業の実践、わかる喜びを与えられる授業の実践を行ってください。
- (3) 教育公務員としての自覚を常に持ち、服務規律の遵守徹底をしてください。
- (4) 「責任起案」「共通理解、協働実践」「客観評価」「確実改善」(Plan-Do-Check-Action)のサイクルによる活力ある教育活動を推進してください。

2 教育に対する誇りと情熱、生徒に対する愛情を持つ

- (1) 教育は、未来に向けた財産づくりと同じです。日本の未来を担う貴重な人材を育てることに、誇りと情熱を持って指導に当たってください。
- (2) 生徒に対し、愛情を持った指導をしなければ、生徒は心を開かないし教師を信頼しません。
- (3) 生徒と教師相互の信頼関係こそが、教育活動の成果につながる重要な条件であることを今一度認識してください。
- (4) 絶対に漠然とした仕事をせず、自分が持っている力をこの学校で、この地域でどのように発揮するかどうすれば発揮できるかを常に念頭に置くことが大切です。

3 ホウ・レン・ソウ（報告、連絡、相談）を励行する

- (1) 絶対に一人で悩まないこと、また、自分勝手な判断は厳に避けてください。
- (2) 組織体の一員であることを常に自覚し、協働する意識、協働体制の維持、教職員全体で協力しながら仕事を進める意識を持って下さい。

4 無限の可能性のある生徒に「力」をつける

- (1) 生徒が持つ可能性は無限です。その能力を引き出せるかどうかは、先生方の指導如何にかかっていることを認識して下さい。
- (2) 学力を始め社会に通用する様々な「力」（学力、社会性、コミュニケーションなどの人間関係能力、社会常識、マナーなど）をあらゆる教育活動でつけてください。

5 管理職の授業参観について

- *授業公開等にかかわらず、授業を見せていただきますので、教室等に入ります。

平成29年度 学 校 経 営 シ ラ バ ス

北海道江別高等学校 全日制

め ざ す 学 校 像	め ざ す 生 徒 像
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、地域から信頼される学校 ・生徒の進路実現に応える学校 ・学力の向上が図られる学校 ・生徒が主体的に行動し、活気溢れる学校 ・学科の特性や専門性を十分に生かす学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく元気に生き生きとした学校生活を送れる生徒 ・基礎学力を身につけ、進路実現に地道に努力する生徒 ・責任ある行動で、自己管理ができる生徒 ・集団生活のマナーやルールを守れる生徒 ・他者への思いやりを大切にできる生徒

領 域	対 象	中 期 目 標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教 育	学習指導	・基礎学力の定着と自信、意欲の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の底上げを図る ・主体的な学習姿勢や意欲の醸成を図る ・アクティブラーニングによるわかる授業の実践に努め、授業の更なる工夫・改善を図る 	<ol style="list-style-type: none"> ①学力差に対応した指導の工夫を図ったか ②シラバスの活用や進路希望との関連を図ったか ③生徒を引きつける授業展開を意識したか ④観点別に生徒の学習状況を把握したか ⑤アクティブラーニングや言語活動を重視し、わかる喜びを体感させたか
	生徒指導	・基本的生活習慣の定着と社会に通用する価値観の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・規律、社会常識を遵守する心を育成し、交通安全・ネットマナーを徹底する ・自主性・協調性・思いやりの心を醸成する ・学年、教科の枠を越えた生徒指導を実践する 	<ol style="list-style-type: none"> ①基本的生活習慣やマナー指導が徹底できたか ②その場その場の臨場指導ができたか ③交通安全指導、ネットマナー指導が徹底できたか ④生徒のサインや変化を見逃さず、いじめ等の未然防止が図れたか ⑤情報を共有し、委員会、分掌、学年の連携・共通実践はできたか
	進路指導	・自己実現を目指し進路設計に意欲的に取り組む態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の早期醸成と望ましい職業観・勤労観の育成 ・適正な自己理解と進路目標の明確化 ・3年間を見通した組織的・計画的な進路指導の展開 	<ol style="list-style-type: none"> ①目標を明確にして計画的な進路指導ができたか ②総合的な学習の時間は有効活用できたか ③保護者への情報提供は充実していたか ④個人面談・三者面談を効果的に行ったか ⑤資格取得・模試・講習は適切に推進できたか
学 校 運 営	健康・安全指導	・心身の健康保持と健全に生きる態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な学習環境の確保 ・心身の自己管理能力の向上 ・教育相談機能の充実 	<ol style="list-style-type: none"> ①実践的な健康教育・安全教育が推進できたか ②SCや専門機関、保護者と連携した生徒支援はできたか ③サポート委員会、学年、分掌が情報を共有し、健康安全面の連携・実践はできたか
	信頼される学校づくり	・教育活動に関わる情報提供と保護者、地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域との密接な連携による教育活動の推進 ・適切な情報の受発信と関係機関との連携強化 ・地域貢献等の積極的推進 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の取り組みや学習成果などの広報活動は充実していたか ②地域の教育資源や人材活用ができたか ③各種の地域貢献は推進できたか ④保護者の学校行事への参加やPTA活動の活性化はなされたか
	組織運営	・学校課題の共有と課題解決に向けた協働体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像・生徒像を共有した教育活動の推進 ・教職員が一丸となった学校経営と協働体制の確立 ・定時制との適切な連携 	<ol style="list-style-type: none"> ①PDCAサイクルによる活力のある教育活動は推進できたか ②部長・主任・科長のリーダーシップによる校務の推進は図れたか ③定時制との適切な連携はなされたか ④事業、行事ごとの評価、課題や改善点の明確化は図れたか
	教職員の資質向上	・研修による専門性と資質能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的・実践的な自己研修 ・校内研修の充実 ・公開授業の充実 ・服務規律の遵守、心身の健康管理 	<ol style="list-style-type: none"> ①公開授業、校内研修会を計画的に実施して資質向上に努めたか ②授業改善につながる充実した公開授業がなされたか ③自己目標を適正に定めて、達成に向けて取り組んだか ④教育公務員としての自覚を持ち、服務規律の遵守に努めたか

三方よしの学校経営

北海道江別高等学校

